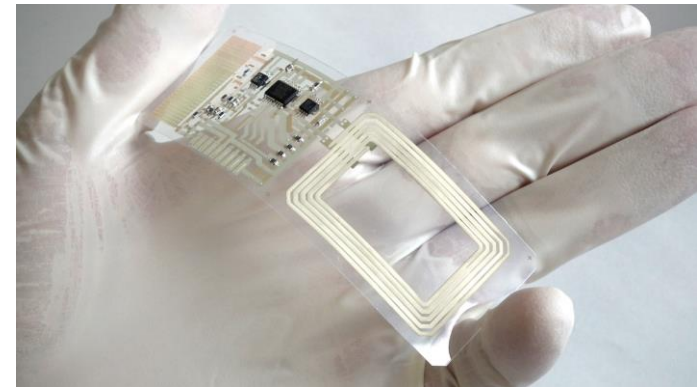


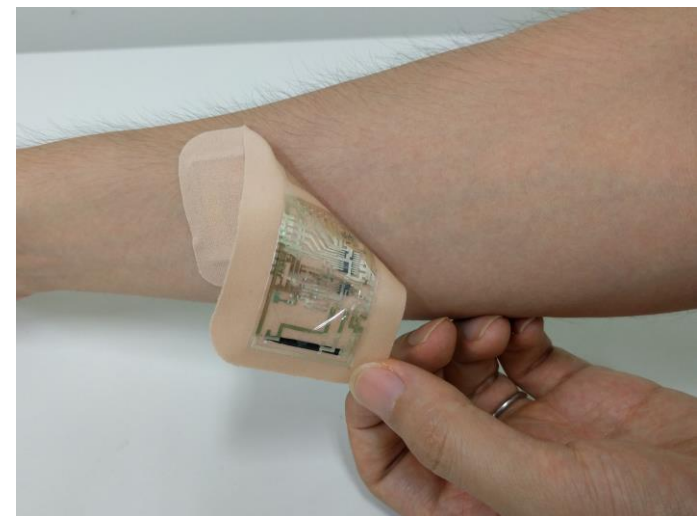
プリントドエレクトロニクス技術による「貼るセンサ」の実用化開発

- 山形大学は、身体に貼って体温や脈拍などを常時計測できる生体センサを実用化する研究プロジェクト（地域イノベーション・エコシステム形成プログラム）を開始した。
- 透明フィルム上に電子回路を印刷したセンサを、絆創膏のように身体や衣服に貼って使う。
- 用途にもよるが、センサの利用期間は1日から数日で、計測結果をスマートフォンに表示できる。
- プリントドエレクトロニクス技術を用いることで、製造コストを従来の10分の1にできると期待される。

山形大学 有機エレクトロニクス研究センター
プリントドデバイス研究部門



絆創膏型センサ



センサ装着イメージ